

丹波篠山市立篠山東中学校 『学習・生活に関する学力向上プラン』

本校では、毎年、中学1、2年生を対象に実施される丹波篠山市学力・生活習慣状況調査の結果をもとに、『学習・生活に関する学力向上プラン』を作成しています。

以下に、今年度の調査結果を分析し、まとめましたので報告いたします。本調査により測定できるものは学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面であることを踏まえつつ、保護者・地域の皆様のご理解とご協力のもと、適切に連携を図りながら、一層の指導の工夫改善に努めてまいります。今後も引き続き、本校の教育活動に対してご支援いただければ幸いです。

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果の概要

〔比較について〕

- ・本校の正答率が全国値に対して+5ポイント以上 【高い】と表現
- ・本校の正答率が全国値に対して差がない 【同程度】と表現
- ・本校の正答率が全国値に対して-5ポイント未満 【低い】と表現

○国語科では、基礎問題・活用問題ともに全国値より高く、とても良好な状況です。領域別では、6領域中4領域において全国値より高く、【我が国の言語文化に関する事項】【話すこと・聞くこと】の領域は全国値と同程度でした。また、観点別においても、全観点が全国値より高く、良好な状況でした。ただ、問題別では、「漢字の部首」「話の構成を考えて文章を書く」という2問において、全国値より低く、課題がみられます。

○数学科では、基礎問題については全国値と同程度で、活用問題については全国値より低い状況です。領域別では【数と式】の領域は全国値と同程度ですが、【図形】【関数】【データの活用】の領域では、目標値より低く、課題がみられます。

○学習習慣・生活習慣等についての意識調査では、全項目全国値と同程度でしたが、「あいさつをする」「助けよう、はげまそうとする雰囲気クラスにある」「つらいことがあったとき、先生に相談できる」「学校の授業以外で勉強している」において良好な状況がみられます。一方、「自分にはいいところがある」「友だちに思いを言葉や体で伝える」「気が進まないのに、友だちの意見に合わせてたり、行動したりすることがある」「クラスの人がふざけたり、おしゃべりをしたりして、授業に集中できないことがある」においては、課題がみられます。

現在の課題および今後の学力向上方策

○国語科
問題別で正答率の低かった「漢字の部首」をはじめ、「漢字の音訓」「熟語の構成」などは、様々な単元や教材を通して、随時復習を行いながら、定着を図っていきます。また、「文章を書く」ことについては、2年生の国語の授業はじめに行っている「ミニ作文（5-10分間で作文を書く）」を継続しつつ、これまで以上に「条件作文」を書く練習をしたり、校内弁論大会に向けて自分の思いや考えを書き綴ったりするなど、「書く」活動を大切にしていきます。

○数学科
累乗や素因数分解、球の表面積などの計算技能は全国値よりも高い状況で、基礎基本の定着がみられます。一方、文章題での方程式の立式や【データの活用】の領域では、全国値より低く、課題がみられます。文章題での方程式の立式は、2、3年生で取り扱うので、繰り返し学習することで数学的思考力の向上をめざします。【データの活用】の領域については、単元独自の用語が多いため、基本的な用語の意味と値の求め方の復習に注力し、学習内容の定着を図ります。

○『学習習慣・生活習慣等についての意識調査』
「共感的な人間関係の育成」「安全・安心な学級風土の育成」に力を入れていきます。間違いやできないことを笑わない、なぜそう思ったのか、どうすればできるようになるのかを皆で考える支持的で創造的な学級風土を日々の授業や行事・学校生活で培います。他者の人格をおとしめる言動を許さず、多様性を認め合い、安心して授業や学校生活を送れる風土を生徒自らがつくり上げることをめざします。

【保護者へのお知らせとお願い】

本校では、今回の調査結果を生かし、お子様一人一人についての学習のあり方や生活習慣について指導方法を検証し、取組を充実させていきます。ご家庭におかれましても、お子様の家庭学習の様子や生活習慣について、今一度ご確認いただきたく存じます。子どもたちの持てる力をさらに伸ばしていくためには、何より周囲の支えが必要です。個々の成長、そしてより良い集団づくりのためにも、学校と家庭・地域とが連携して子どもたちを支えていけますよう、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

